

OZ RACING Rally Racing

往年の傑作の復刻モデルは
ラリー由来の力感と先進性が魅力



プジョーリフターにはレッドポイントオリジナルスベックのグロスブラック+イエロー文字の16インチを。ホワイトレタータイヤとの相性も極上だ。ロゴカラーで個性を出せるのも魅力

ラリーに寄せたスタイリングと
ネオクラな薫りのハイブリッド

1971年に誕生したイタリアのホイールメーカー、OZは、数多くのレースで勝利を重ねてきた世界を代表するレーシングホイールの名門。そのためラインアップの多くはレース、スポーツに振ったものが中心となるが、実はオンロード用ではなく、未舗装路で戦うラリー競技のために生まれたモデルも存在する。それが1988年、WR Cでデビューを果たしたグラベル用モデル、ラリーレーシングだ。

ラリーレーシングは走行中、石や砂利などがホイール内&ブレーキ周辺に噛みにくいよう、に考慮されたデザインが採用されていて、大きなディスクに数多くのショートスポークを組み合わせた先進的な意匠となっている。ここで世界中のラリーファンたちを魅了した名作。いったん販売が終了されたのだが、2017

年ついに復活。17〜19インチの幅広いサイズでロングヒットを続けている。

この復刻版、元祖モデルと比較すると窓がより大きくデザインされていて、爪のようなショートスポークが立体的でディスク部分まで突き出した形状となるなど、さらに躍動的で精悍なスタイリングへとブラッシュアップされているのが特徴。それでいてどこかクラシカルな風合いも薫るなど、いまがまさに旬なコンクスタイルにもよく似合う。

ポルポに装着しているのは18×8.0Jで、現代的なポディフォルムにも違和感なくなじみ、足元の力強さが明確に高まって見える印象。プジョーリフターに装着したのはイタリア本社から承諾を得て日本製が実現した16インチモデル。コンパクトカーが多く、コンクスタイルが最旬な今の日本のシーンにおいては、それにジャストな16インチの設定追加は朗報だ。



プジョーリフターは岐阜県の老舗ファクトリーであるレッドポイントのデモカー。フロントランナーのルーフラックやDARCHE ECLIPSEのサイドオーニングを装備。オシャレ度バツグンの仕様となっている

日本の駐車場事情にも考慮した
実用的なちょいアゲオフ仕様

レッドポイントが製作した2019年式リフター。
フロントランナーのルーフラックは、高さ制限の
あるショッピングモール駐車場なども利用でき
るよう、純正ルーフレールを外して装着。1イン
チのリフトアップで迫力も増した



プジョーリフター テールゲートラダー 試作モデル
リフトアップスプリング (F/R 25mmアップ) ●¥49,500
プレスパーキット (3本セット) ●¥88,000



リフター・ベルランゴ用のテールゲートラダーは試作品。中央の
ボールが着脱可能で、リヤウインドウのみの開閉にも対応でき
るのが特徴。ポリッシュとブラックの2タイプをリリース予定



駐車場の高さ制限を、車高をアゲてもクリアできるよう、純正ル
ーフレールを外してからルーフラックを装着。プレスパーキット
はフロア2本、エンジン1本の3本のセットだ

問レッドポイント
☎058-370-5064
<https://www.redpoint.co.jp/>

Specifications (Rally Racing16/Rally Racing)

SIZE	INSET (mm)	P.C.D. (mm)	HOLE
16×5.0J	45	100	4
16×5.5J	45	100	4
16×6.5J	38, 45	100	4
16×6.5J	45	108	5
16×7.0J	35	100	5
16×7.0J	35, 45	114.3	5
17×7.0J	37, 45	100	4
17×7.0J	35, 45	100	5
17×7.0J	45	108	5
17×7.0J	35	110	5
17×7.0J	38, 45, 53	114.3	5
17×8.0J	35, 48	100	5
17×8.0J	45	114.3	5
18×7.5J	48	100	5
18×7.5J	38	110	5
18×7.5J	45, 50	114.3	5
18×8.0J	45	108	5
18×8.0J	38	110	5
18×8.0J	45, 50	114.3	5
19×8.0J	35	100	5
19×8.0J	45	114.3	5
19×8.5J	38, 45	114.3	5

COLOR:ダークグラフィタイト、レースホワイト、グロスブラック



Rally Racing16/
Rally Racing

ラリーレーシング16/ラリーレーシング

ラリー風か、ヨング風か
個性豊かな3カラーを設定
復刻版のラリーレーシングには全3色が設定
される。カーボンのような精悍さが魅力的なダ
ークグラフィタイトはヨング風、レースホワイトはラ
リー感が立つ。グロスブラックは大人



V60クロスカントリーに装着しているのは18×8.0J。スタイリングと
実用性、快適性をちょうどよくバランスしたようなサイズで、街乗り中
心でたまの週末にはアウトドアへ、という人にぴったり



V60クロスカントリーにはスーリーテプイ フットヒルを装備。コ
ンパクトながらも大人2人が就寝可能だ。足元は215/55R18
サイズのミシュラン PRIMACY 4の組み合わせ



どのカラーを履くかによって
テイストがガラリと一変

ラリーレーシングのギアっぽい意匠と、デリカのメカニカルなボディデザインとの相性がバツグン。足元の力感が確実に引き上がる。どのカラーを履くかによっても印象はガラリと変わる



OZ初のKカー用サイズも設定
国産車に幅広くマッチングが可能
名作、ラリーレーシングの復刻版モデルは発売以来、多くのファンから支持を受け続けている。昔を知らない若い世代からの評判もすこぶる良く、アウトドア仕様がブームになっている日本でもこそ、ヨック風な仕立てで楽しんでほしい。ラリーレーシング復活直後からOZジャパンはそう考えていた。

そこでOZジャパンはイタリアの本社に「16インチモデルを日本で」と粘り強く交渉。かなりの時間を要したものの2022年6月、日本国内での16インチ発売へとようやくこぎつけたそう。ちなみに製造はあの名門、エンケイだ。

先述したがこの16インチ、日本市場だけの限定サイズで、Kカー用P・C・Dやコンパクト用などサイズバリエーションが実に多彩。タフトやヤリスクロス、ライズなどにはまさにハマリ役だ。

もちろんデリカやRAV4といったヨックスタイルの主役級車種とのマッチング相性もバツグン。今回はデリカに装着しているのだが、ラリーレーシングは基本的に「ディッシュ路線のデザインとなるため、ボディマスが大きめなデリカに合わせても格負けしない。さらにショートスポークのエッジ感やギア感が、デリカのメカニカルなフェイスイメージとも絶妙にシンクロ。タフトでワイルド、先進的、どこかクラシカルという映え要素たっぷりのマッチングスタイルに仕上げられている。

装着すればラリーマシンの風味も堪能できるし、石畳みなども防げる意匠だからアウトドアシーンでも実用的。何より世界中が憧れるOZレーシングのロゴがディスクに描かれるため、ステータス度の高さも圧倒的。アウトドアシーンで周囲のアツい視線をクギツケたいのであれば、16インチ、絶対アリ。

ヨック風の演出に効きまくる 日本限定16インチサイズ登場



OZジャパン 内山晶弘代表

「OZブランドにはKカー用ホイールがありませんでした。なので16インチはサイズも豊富で、Kカーのオーダーも入っています。タフトなどはイメージ的にもバッチリですね」

写真の左側が元祖ラリーレーシング。復刻版と比較するとややシンプルだが、当時ではかなり斬新なデザインだ。復刻版は窓が大きく爪が立体でダイナミックになり、より力強い



PRESENT

今回はOZジャパンから、ヨックスタイル読者へ特別にプレゼントが。オフ系のアクセントに最適なステッカーとキーリングはそれぞれ3名に。クールなナンバーフレームは1名に

1 ナンバープレートフレーム(前後1組)



1名

2 アウトドアステッカーブラック
モノクローム



3名

3 OZアウトドアステッカー クリア トリコロール



3名

4 ラリーレーシング
キーホルダー



3名

*申し込み方法は、
wn@carmode.net宛に
「OZプレゼント応募」&「希望商品番号」を
書いて応募してください。